

2012年度日本気象学会東北支部第2回理事会 議事録

2013年3月13日(水) 16時00分～17時40分：仙台管区気象台第3会議室(3階)

出席：川津、青木、足立、岩崎、境田、杉山、丹治、長谷川、川原田、高尾(以上理事)、
山崎、折笠、金濱(以上幹事)(敬称略)

欠席：児玉(理事) 阿部(会計監査)(敬称略)

司会：足立

議題1. 支部長挨拶

議題2. 役員の交代：議案参照。高尾理事も転出のため交代。後任は、肆矢 雄三氏(気象衛星センター)。支部長退職に伴い支部長代理を互選。後任支部長互選までの間、境田理事を支部長代理とする。

議題3. 2012年度事業報告：議案のとおり。

- ・気象講演会について川原田理事から報告：気象講演会当日は聴講人数は少なめであったが、今冬の山形の雪の状況を経験してからは、新聞・テレビからの問い合わせが多く、雪に関する関心の高まりを実感した。一般の関心の高まりから、山形地方気象台では気象講演会開催年以外でも、気象に関する講演会などの催し物の開催を検討してみたい。

- ・第3回気象サイエンスカフェ東北について杉山理事から報告：気象学会東北支部と気象予報士会東北支部の共同主催で開催し、予報士会東北支部から開催当日に司会、サブファシリテータが参加し、また分担金も負担し、予報士会東北支部として有意義に参加できた。来年以降も引き続き取り組む。

- ・支部長から：今回の気象サイエンスカフェ東北では、食料生産に関することという、地球温暖化そのものの話題だけでなく、その周りを取り巻く話題を取り上げ、大変に興味深いものであった。今後もさまざまな方向から話題を取り上げてみるとよい。

- ・気象研究会の発表題数について：10題より少ない程度が通常の発表数で、7題も通常程度。発表者は主に大学、学生、院生、気象台職員など。今回は学会員以外からも発表があった。

- ・気象研究会の開催日は、気象台の研究会との開催との兼ね合い上、平日開催のほうが気象台としては都合がよい。対象も一般的ではない。

- ・仙台管区気象台と大学での共同研究などは、地震火山分野では行われているが、気象分野のほうはそこまで手が回っていないのが現状。

- ・東北支部便りについて：昨年度は震災の影響で発行が遅れたので、第72号は年度またぎで支部会員に発送した。

議題4. 2012年度会計報告

〔一般会計〕

- ・支部だよりの差異は、第75号の発送費が3月4日時点では計上されていないため。
- ・支部気象講演会の差異は、会場(山形県郷土館「文翔館」)に垂れ幕等が設置できなかったため、作成しなかったため。

- ・支部理事会の差異は、遠方からの理事が出席できなかったため、使用しなかった交通費。

[気象サイエンスカフェ東北（支部強化基金による活動会計）]

- ・資料印刷費の差異は、周知チラシ印刷枚数を増やしたため。
- ・講師謝金の差異は、依頼した講師が大学教授であり、謝金を辞退したため。
- ・役務費・交通費の差異は、開催当日の気象予報士会からの参加スタッフが増加したため。不足分は主に気象予報士会分担金を充てた。これについては、理事会・ワーキンググループで交通費配布基準の検討がある。
- ・不足額は、一般会計から補填。

議題 5. 2012 年度会計監査報告：議案を承認した。

議題 6. 2013 年度事業計画案：議案のとおり

- ・支部強化基金による活動（気象サイエンスカフェ東北）は、山形での開催の可能性も検討。
- ・気象サイエンスカフェ東北の現状では、開催規模を大きくするのはまだ難しい。

議題 7. 2013 年度秋季大会について

- ・シンポジウムについて青木理事より報告：講演の候補を 6 件挙げているが、約 2 時間の枠では 4～5 件が適当か。受賞講演時間との兼ね合いがあるが、講演企画委員会と延長について交渉の余地あり。
- ・懇親会費について：大きく赤字になっても黒字になってもいけない。大学生協に頼むことによって出来る限り会費を下げる、学生分は思い切って割り引く（若手の参加者数を増やすため）、前納と当日の差をもっと付ける（当日払いを多くしないため）、ということを考えた方がよい。

議題 8. 2013 年度予算案

[一般会計]

- ・支部だよりの減額は、通常どおり年 3 回の発行予定となったため。
- ・支部気象研究会の減額は、秋季大会開催に伴い支部気象研究会を開催しないため。
- ・秋季大会の減額は、秋季大会開催に伴い、この分は一般会計とは独立させたため。
- ・支部役員選挙の増額は、2014 年度が支部役員選挙の年であり年度またぎで告知処理を行うため。

[気象サイエンスカフェ東北（支部強化基金による活動会計）]

- ・資料印刷費の差異は、本年度の使用実績から増やしたが、なお節約に努める。
- ・気象予報士会から来年度も分担金を出す予定。支部強化基金は一般会計とは独立しており、予算が余った場合は返却するが、それを踏まえて組み入れる。来年度第 1 回理事会では、予報士会分担金を組み入れた予算案を示す。

議題 9. その他

(1) 全国理事会報告

- ・3 月 18 日に全国理事会が開催されるが、その議題案から主なものを報告。
- ・公益社団法人への移行に伴い、通常会員、特別会員の制度を廃止してすべての個人会

員が社員となる。役員選挙は行うが、全国区、地方区の区分は行わない。常任理事会を廃止し、理事を27名から20名体制にする。支部長会議を新設する。

- ・学会賞について、中堅研究者の業績を褒章する賞および社会貢献に顕著な業績を表彰する賞が新たに設けられることになる。

- ・1993年以前に刊行した「気象研究ノート」に関する著作権の学会への委譲について依頼予定。

- ・理事20名体制になることから、長谷川理事から辞任についての報告。

- ・奨励賞候補者推薦委員会の委員後任については、長谷川理事の後任である菫澤氏を東北支部から推薦することです承。

(2) 事務局から：議案のとおり